

去年の悪夢再び

赤潮被害 170万3000匹 過去最悪

昨年続き、長島海峡や八代海で赤潮に襲われ、養殖ブリなどに甚大な被害が出ました。

鹿児島県は8月9日、有害赤潮シャトネラ・アンティエーカの影響で、本町の養殖ブリ、カンパチの被害が計170万3000匹、36億8000万円（東町漁協33億4000万円、北さつま漁協3億4000万円）に上ったと発表しました。

本町では、昨年夏も大規模な赤潮が発生し、養殖ブリなど121万匹が死ぬ被害がでており、被害匹数は過去最悪を更新しました。

漁業関係者は、赤潮が確認されてから塩の散布や養殖いけすの沈下など、被害拡大を防ぐために必死の対策を講じましたが、赤潮は本町北部海域の広い範囲を覆い、次々に浮かび上がる死魚の回収、埋設に追われました。

昨年は7月28日に県赤潮警報が発令。本年は7月2日に発令されており、約1カ月早い赤潮の襲来となりました。